

美女平

美女平は、樹齢 300 年を超えるスギの巨木と、原生林を散策できる多くの遊歩道で知られている。

スギの中でもひととき目立つのが、ケーブルカー美女平駅の外にそびえ立つ 2 本のスギのうちの 1 本、「美女杉」だ。この木は、日本の近代化の先駆けとなった 1868 年の明治維新まで守られていた、神聖な立山への女人禁制に触発された地元のいくつかの伝説に関連している。

そのうちのひとつは、美しい姫が、修行のために立山に登っていた婚約者と離れ離れになってしまったという話である。姫は木の神に最愛の人との再会を祈った。その願いが叶ったことから、この木は「美女杉」と呼ばれるようになった。また、恋人を追って山に登ろうとしたところ、山の神によって木に変えられてしまったという説もある。

立山駅から登ったところにある美女杉からは、4 つの散策コースが森の中に続いており、その道沿いに多くの巨杉がある。一番短い 1 キロのコースは 30 分で回れるが、2 キロと 2.5 キロのコースはそれぞれ 1 時間と 2 時間かかる。少なくとも 2 時間半の余裕のある人は、最長の 4 キロのコースを選ぶといいだろう。このコースは、美女平に広がるブナの原生林の奥深くを歩き、ケーブルカー駅方面に折り返すコースだ。冬と春には、スノーシューツアーで美女平を散策することもできる。